
東方地球危 ~ ranger year 2012 ~

台風X号

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

東方地球危し r a n g e r y e a r 2 0 1 2 し

【Nコード】

N 4 2 3 2 J

【作者名】

台風X号

【あらすじ】

遂に登場。東方地球危。このお話は、幻想郷と闇幻想郷で起こった異変である。

(前書き)

最強の物語が始まる。

御刃彦之尊「人間界と幻想郷と闇幻想郷を約束の時に壊せれる。」

「
ハープ「2012年総ては、我々が起こした異変で終わりを告げる。

」

東方地球危くranger year 2012く

オープニングテーマ曲 崩壊させたくない絆 作詞台風X号

僕たちはいつまでも色あせないこの地で楽しく過ごしていた

荒れ狂う咎に飲み込まれそうになったけど挫けず生き続けた

2012年にみんなが死を迎えると云われているけど

そんなことをキャラにしたいから

狂気と盗みが壊れて消えた時

殺しの思いはすぐさまに消えてなくなってい

またあたらしいへいわきたれー

些細な日常よ総てに誓われた未来につながれよー

アングル「水素」懺符「黙示録からの伝言」

人間界に降り始めた奇妙な弾幕。

トウダイグサ・スカーレット大佐とタカトウダイ中佐はこの弾幕を見てあることを思い出した。

トウダイグサ・スカーレット大佐「今年って、2012年じゃねえのか？」

タカトウダイ中佐「そうですね。大佐殿。」

ニシキソウ准尉「ということはまずいことになったぞ。」

闇幻想郷にも、怪しげな空気に包まれていた。

セルインジー・キリスト「世紀末はまだ早すぎるぞ。」

牟陀「いやな予感は、しすぎてたまらない。」

フリッピー「フレちゃん、運命の時、来ちゃったね。」

フレイキー「恐いですう。」

紅魔館

十六夜 咲夜「2012年に全てが滅んでしまうのでしょうか？」

レミリア「2012年の大異変といってもいいかもしれませんが。」

白玉楼

妖夢「いやな予感がしてならないわ。」

滅壞抹織殺鋌

インフルケイド「さて始めますか。」

ハルゼバブ「そうですね。」

カタリーナ「嫌と言わせてやるわよ。」

御刃彦之尊「インフルケイド、お前は幻想郷にウィルスをばら撒け、
新型インフルエンザをな。」

博麗神社

霊夢「こんなに、空気が汚れ始めていたなんて。」

魔理沙「2012年の大異変ってやつみたいだぜ。」

早苗「急いで防がないと。」

闇幻想郷

フロッグマン「キッズウィン行くぜ。」

キッズウィン「待ってよ、フロッグマン。」

キモエリザベス「待ちなさい、二人共。放射陣 危険の欠片」

カドルス「キモエリザベス、そんな弾幕使つなよ。」

ギグルス「急いで、教会の主さんに言わなきゃ。」

2012年、悪魔が復活しようとしていた。其の者の名は、殺沢仁
枇體。彼は、存在も不明であり大きな謎を持つ。

米苗ハープ「ハルゼバブは、どうするんだ。」

ハルゼバブ「様子見ですが。」

「そっか。」

幻想郷

インフルケイド「狂人 感染しなされ」

ウィルス型の、弾幕を放ち、そこを歩いている。ミステリア・ロー
レイに直撃した。

ローレイは、少しずつ声を唸らせた。苦しいのである。

「苦しい、ハーハー」

インフルケイド「意外な奴に引っかけたな、そのまま苦しみが
ら死ぬ。」

諏訪子「君は、誰？」

「俺の名は、インフルケイド。狂兇 偽歌のウィルス」

諏訪子「余裕に、避けれるわよ。」

「電離符 紅い悲しみ」

諏訪子は、満身創痍状態になってしまった。

諏訪子「神奈子に、知らせて・・・」

カラスを使って、諏訪子は、倒れてしまった。

神奈子にこの異変を伝えるために。

博麗神社

霊夢「ローレライと諏訪子が、やられた。」

早苗「本当なのですか？神奈子さん。」

神奈子「本当だ。最悪なことに、あの二人の種族調べてみたら、一人はウィルスでもう一人が妖怪兵器だということ。」

魔理沙「人間界も、結構増えているからな、新型インフルエンザ。」

霊夢「その、ウィルスが幻想入りすることは、あり得ない。」

早苗「でも、考えれるのは、霊夢が、神社にいないときに、ウィル

すが勝手に幻想入りしたと、考えれば話は最悪ですよ。」

霊夢「確かに、言えなくはないわね。」

紅魔館

カタリーナ「風怖 屋根まで飛んだ」

美鈴「こんな、弾幕避けれるわ。」

しかし、後ろにいる米苗ハーブに気付かなかった。

美鈴「しまった。」

ハーブ「電離符 黙殺の地震起こし」

美鈴「虹符 烈虹真拳」

しかし、美鈴のスペルカードから出た弾幕が、かき消された。

美鈴は驚いていた。

ハーブ「電離符 滅亡兵器俺」

美鈴は、右足と左腕に攻撃を受けた。

カタリーナは、立ち上がるうとする美鈴の頭を足で押さえつけた。

ハーブ「お前は、白玉楼に向かえ。」

カタリーナ「あなたは、どこ行こうとしているのさ？」

ハーブ「香霖堂のあいつに会いに行く。」

幻想郷にやってきた霊夢たちは、満身創痍になっている諏訪子を見つけた。

諏訪子は、ふらふらと今にも倒れてしまおうぐらい弱っていた。

早苗は、諏訪子を背負って、ある場所へと向かった。

インフルケイドは、アンゴルⅡ水素と合流した。

閻幻想郷は、まだ誰も触れていない。

魔理沙と霊夢と早苗は、閻幻想郷にやってきた。

キッズウィンとフロッグマンは、霊夢達をある所に連れて行った。

そこは、ギグルスとペチュニアのいる場所だった。

一方、幻想郷は、荒れ狂っていた。

カタリーナと米苗ハーブは、少し面白いものを見つけていた。

「ハーブよ、こんなところにUFOがあるよ。」

「見に行くぞ。カタリーナ。」

「了解だわ。」

しかし、星蓮船チームによるトラップ作戦であった。

御刃彦之尊は、閻幻想郷の存在を知る。

閻幻想郷は、不思議なことに誰も触れていない。

霊夢は、ギグルスに出会った。

「閻鈍神の時は、どうもでした。」

すねているようだ。

射命丸は、急いで逃げていると妖々夢チームに出会った。

アングル〓水素とカタリーナと米苗ハープが、其々、弾幕を仕掛けてきた。

「あのクソばばあしつこいな。」

紫の頭に怒りマークがついた。

「誰が、クソばばあよ。あんたら全員境界送りよ。」

ハープとカタリーナは、あっさりと逃げた。

妖夢とアングル〓水素は、にらみ合っていた。

閻幻想郷では、セルインジー・キリストと卒陀が見守っていた。

そして、インフルケイドが現れた。

セルインジー・キリストがスペルカードを取り出した。

「滅罪　消えなくなるうちに」

インフルケイドは、攻撃を受けた。

ハルゼバブは、星連船チームがのびているのを見ていた。

「派手にやらかしたな。」

殺沢仁柢體が、降臨しようとしていた。

諏訪子は、怪我もしていたことと熱があった。

トウーシーは、いろいろ考えていた。

キッズウィンが先に行ってしまった。

「幻想郷が危険ならここも危険だよ。」

フロッグマンは「この異変は尋常じゃねえぞ。」

魔理沙は今起こっている異変の中に見落としていたものがあると主張した。

そう、殺沢仁柢體のことである。

セルインジー・キリストは、あとからやってくる軍団を止めに入っ

た。

カタリーナの弾幕は、強かった。

「凶風 南亜米利加ララバイ」

米苗ハーブとハルゼバブと御刃彦之尊が来てしまった。

杓陀は、スペルカードで対策を練った。

「仏法 卍に語られし孤独の魔法」

アングルⅡ水素と妖夢は戦っていた。

妖夢は、左頬から血が出ていることに気付いた。

カドルスが援護しようと考えた。

どうやら全員、スペルカードを持っているという。

「聖雷 サンタ・サンダー」

「黒穴 ブラックホールレボルバー」

「放符 核と絶に満ちるがいい」

ほかの弾幕もあった。

米苗ハーブの厄介な能力から避ける方法を知っているのはセルイン
ジー・キリストであった。

「闘いの委ねを考えなければ。」

牟陀は、それはさせなかった。

地球危と呼ばれた軍団は、あと、御刃彦之尊とアングルⅡ水素と殺沢仁枇體だ。

御刃彦之尊との戦いは、苦戦は強いられていた。

アングルⅡ水素は、闘いをやめ何処かへと去ってしまった。

妖夢にとっては、かなり手ごわい剣術の達人と戦ったことになる。

殺沢仁枇體が、とうとう降臨してしまった。

「全世界は、滅ぼして我が世界を創り上げるそして我こそが最強の神になる。」

トウダイグサ・スカーレット大佐とナツトウダイ・スカーレット軍曹とレミリア・スカーレットが来た。

「あいにくだが、その野望は潰してやる。」

「そういうことだ。」

「幻想郷をめちゃくちやにしたことを後悔するなら今のうちよ。」

御刃彦之尊を倒したセルインジー・キリストは、殺沢仁枇體の存在に気付いた。

「敵が、まずい所にいるぞ。」

そこは、幻想郷であった。

殺沢仁柢體を倒す方法は、絶望を感じないこと。

絶望を感じると、其の絶望を操ってしまう。

しかし、セルインジー・キリストは、何かを考えていた。

ほかのみんなもやってきた。

幻想郷で起こる。最大級の闘いが起こった。

殺沢仁柢體との戦いは、かなりきつい。

「絶回　　終わりと終わりに絶望によって死ぬ」

弾幕は、よけられるかどうか分からないほど強い。

霊夢たちは、絶望に陥るかと思いきや巨大スペルカードで守っていた。

其の正体は、でかい十字架^{ロザリオ}だ。

「セルインジー・キリストこれってもしかして？」

「罪滅　　サディスティック・ラブ」

この弾幕は、強いため殺沢仁枇體に大ダメージを与えた。

「貴様らなどにこの俺が倒せれるのか？」

「倒してやるよ。」

卒陀の最強スペルカードが発動した。

「仏壊になった恐怖の世界を創りだす魔法」

弾幕の力が強く、殺沢仁枇體は、倒された。

幻想郷だけでなくほかの世界も平和になった。

全ては、終わった。

闇幻想郷も平和になった。

そして幻想郷の傍らにいる者が何かを企てていた。

終演

(後書き)

予告

自然がお怒りになる頃にorたいふうのなく頃にが、2月21日に連載開始だ。

予告？

タイフーンマンズの劇場小説版来る。1月26日を見よ。

予告？

アンチヒーローロボット小説誕生。カンレキ1月22日連載開始。

東方地球危は、どうでしたか？面白かったら評価をお願い致します。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4232j/>

東方地球危～ranger year 2012～

2010年12月25日23時23分発行